



うねめ 采女祭

2010年9月21日(火)「宵宮祭」

時間：17：00～

場所：采女神社（猿沢池畔）

2010年9月22日(水)「花扇奉納行列」

時間：17：00～

場所：JR奈良駅～猿沢池

2010年9月22日(水)「花扇奉納神事」

時間：18：00～

場所：采女神社

2010年9月22日(水)「管絃船の儀」

時間：19：00～

場所：猿沢池

交通：近鉄奈良駅から徒歩5分

問い合わせ先：采女祭保存会 TEL：0742-22-3900

特別イベント

管絃船の乗船体験ができます。

日 時	平成22年9月18、19、20日の3日間 10：00～11：00 14：00～15：00
采女祭協力金	大人1,000円 子供500円（記念品付）

猿沢池の西北の隅に鳥居を背にした珍しい後ろ向きの神社があります。これが采女神社で『大和物語』によりますと「奈良時代に帝に仕えていた采女（後宮で帝の給仕をする女官の職名）が、帝のご寵愛が衰えたのを嘆いて猿沢池の池畔の柳に衣を掛け、入水したので、その霊を慰めるために社を建てました。しかし、采女は我が身を投じた池を見るにしのびないと一夜のうちに社を後ろ向きにした。」と伝えられています。

午後5時から花扇奉納行列があり、秋の七草で美しく飾られた2m余りの花扇と数十人の稚児、御所車に乗った十二単姿の花扇使や姉妹都市 福島県郡山市から参加いただいているミスうねめ、ミス奈良などが天平衣装をまとって市内を練り歩きます。午後6時から春日大社神官による厳かな神事後、花扇が奉納されます。午後7時 南都楽所の奏する雅楽が流れるなか、花扇をはじめ、花扇使・ミスうねめ・ミス奈良を乗せた2隻の管絃船（龍頭・鷓首）が、猿沢池に浮かぶ40余りの流し灯籠の間をめぐって池をめぐり、最後には花扇を池中に投じる雅やかな行事です。